

変化に対応したイノベーション促進のための知財システムの構築

(「イノベーションと知財政策に関する研究会」における検討)

資料 8

平成 20年3月13日
経 済 産 業 省

情報技術(IT)の進展による特許の検索環境の進化

経済のグローバル化

技術の高度化・複雑化

背景1. 世界的な特許システムの危機

◆ 世界の特許出願の急増

- ー 世界の特許出願は約170万件に急増。
- ー このうち約4割が重複出願。

◆ 知財をめぐる南北の対立

- ー 途上国における特許出願のほとんどが先進国からのもの。
- ー 知財の議論も、公衆衛生、遺伝資源等の局面で議論されマルチフォーラ化。
- ー 模倣品・海賊版の被害が深刻化。

背景3. 特許を巡る企業間競争の激化と不確実性の増大

◆ 不確実性とビジネスリスクの増大

- ー 知財訴訟のコストは高額化している。
- ー いわゆる「パテントトロール」の活動についてもビジネスリスクを増している。

背景2. 技術の高度化・複雑化に伴う「オープンイノベーション」の進展

◆ オープンイノベーションの進展

- ー 垂直統合型の研究開発体制に加え、オープンイノベーション体制が出現。
- ー 研究開発が大学やベンチャーなどの多様な主体によって担われている。

◆ 知財の地理的・分野横断的広がり

- ー オープンイノベーションに伴い、学术论文と知財の競争が重なりつつある。
- ー 諸外国の知財情報も、より重要になっている。

こうした変化に対応するため、プロパテント政策をさらに強化し、イノベーション促進のための知財システムを構築

目標Ⅰ. 持続可能(サステイナブル)な世界特許システムの実現

- 「特許審査ハイウェイ」を始めとする審査の各国間でのワークシェアリングを推進して特許審査を効率化することや、特許制度の国際的な調和を図ることが一層重要になっているのではないか。
- 発展途上国における知財制度の整備支援など、世界経済全体にとって効果的な知財システムの整備が必要ではないか。 等

目標Ⅲ. 特許システムの不確実性の低減

- ビジネスリスクを低減させるため、特許の質の向上と透明で予見性の高い知財システムの整備が必要ではないか。 等

目標Ⅱ. イノベーション促進のためのインフラ整備

- 多様な主体による研究開発を戦略的にプロデュースして知財を生み出していく新しい知財ビジネスのための環境整備が必要ではないか。
- シームレスに技術情報(国内外の特許情報、論文等)にアクセスできる環境整備を推進すべきではないか。
- 戦略的に知財ポートフォリオを作り上げるため、「知財の目」で研究開発政策を進めるべきではないか(研究開発政策と知財政策の連携)。 等